

年頭の挨拶

真宗大谷派開教司教

大谷 裕



海外在住の全ての同朋の皆さまに、新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方には、平素より仏法聴聞につとめられ、法義相続・本廟護持の尊い御懇念を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

まず初めに、ロシア連邦によるウクライナへの軍事的侵攻、イスラエル、パレスチナにおける大規模な軍事衝突をはじめとし、世界各地で紛争

や内戦、テロ、暴動などが起こっています。

二〇二三年は第二次世界大戦以降、最大の紛争数であったとの報道も目にいたしました。その中で苦痛に苛まれ、悲しみに打ちひしがれている方々がそこにおられることの事実を思うとき、一人の無力さを思い知らされると共に、世界中の人々が安心して過ごすことができる日々を手にすることを念じずにはおられません。

また、日本においては二〇二四年一月一日に発生した令和六年能登半島地震において多くの方が被災され、今なお困難

な生活を送られておられます。私自身、被災地を訪問した際、多くのご門徒とお話しをさせていただきましたが、度重なる困難にあわれてもなお、真宗の教えを糧として生活されている皆様と出会い、改めて、能登の地からお念仏の声を絶やしてはならないと強く思いをいたしました。引き続きのできうる限りの支援の大切さを感じております。皆様の絶大なるご支援を引き続きお願い申し上げます。

さて、開教司教の役をいただいて以来、これまでに北米、ハワイ、南米の三開教区すべての別院の報恩講にお参りすることができました。また昨年は北米開教区へ赴きまして、ロサンゼルス別院報恩講と別院創立一三〇周年記念法要にも遇わせていただきました。そこでは皆様をはじめとする多くの方々とのご縁をとおり、あらためて私自

身、皆様と共に仏祖を崇敬し、聞法を共にした日々の生活に身を置きたいとの思いを強くいたしました。このたび多くの方々のご助力のもと、昨年十二月よりハワイ開教区に滞在いたしておりました。数ヶ月の短い期間ではございますが、さらなる方々とも出遇いをいただきながら語り合いをとおり、あらためて自らを確かめ、開教司教としていただいたお役目をいかに果たしていくべきか憶念してまいりたく存じます。

今後は、ハワイ開教区のみならず、南米開教区、北米開教区にも赴くことを予定してまいりたく存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、いよいよ来年二〇二六年には、南米開教区を会所に約十年ぶりの世界同朋大会が開催されます。あらためて「南無阿弥陀仏 人と生まれ

行事予定

二月

二日 二月祥月法要
九日 日曜礼拝
十六日 日曜家族礼拝
二十三日 日曜礼拝

三月

二日 三月祥月法要
九日 日曜礼拝
十日 ゴルフ大会
十六日 春季彼岸法要・春季セミナー
二十三日 日曜礼拝
三十日 日曜礼拝

同朋のお悔み

魚本あきのぶジョン様
十一月十七日 御命終
行年八十二歳

仲田 光子様
十一月十七日 御命終
行年八十六歳

香川明子ルビー様
十一月二十一日 御命終
行年八十三歳

謹んで哀悼の意を表します。

年頭の挨拶

真宗大谷派宗務総長

木越 渉



二〇二五年の年頭にあたり、開教区の皆さまにご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、平素より各開教区で

たことの意味をたずねて「いこう」の願いのもと、世界中の御同朋との「有り難い」出遇いを、共に慶び合う大切な縁として、ご家族、ご友人をお誘いあわせのうえ、ご参加のご検討をいただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

の活動にご尽力いただき、ありがとうございます。御礼申し上げます。

一昨年に、真宗本廟での宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が円成し、「集い聞く」大切さも確かめ合うことができました。そして、いよいよ日本各地はもとより開教区でも、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要をそれぞれ開いていただくとして、昨年一月一日に令和六年能登半島地震という大きな災害が発生いたしました。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地は真宗門徒の多い地域であります。とりわけ震源地である能登地方は、近年たび重なる地震により、何度も苦しい思いをされていた中での巨大地震発生であります。多くの寺院・

ご門徒が甚大な被害を受け、発災から一年が経過した今もなお困難な生活を過ごされております。

あらためまして、被害に遭われました寺院・教会、ご門徒をはじめとする全ての被災者の方々に、対し、衷心よりお見舞いを申し上げます。

真宗大谷派は、被災された方々に寄り添い、繋がれた尊い命や連綿とながってきたお念仏の教えを何としても守り抜くため、これからも変わらぬ支援を続けてまいります。

さて、開教区におきましては、いよいよ二〇二六年に約十年ぶりとなる世界同朋大会を迎えることとなり、本年より募集が開始できるよう準備を整えてまいります。先ほども触れましたが、真宗本廟での宗祖親鸞聖人御誕生八百五十

光壽無量

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

東本願寺ロサンゼルス別院職員一同

永代経法要及び

新年会・総会

一月二十六日（日）午前十時より

詳細は改めてお知らせ申し上げます。

年・立教開宗八百年慶讃法要を経て開催されるこの度の世界同朋大会は、是非とも慶讃法要テーマである「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」の願いのもと、世界中の方々と共に生まれた意義と生きる喜びを真摯に確かめ合う集いとなるよう、そして、今後の開教区における慶讃法要厳修の勝縁

となる大会となつていただきたいと念願しております。是非奮つてご参加のほどお願いいたします。

本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。



別院より 新年のご挨拶

輪番 伊東憲昭

皆さま、新年あけましておめでとうございます。二〇二五年が皆さまとご家族にとつて素晴らしい幕開けとなったことを心より願っております。

昨年、私たちはロサンゼルス別院の創立百二十周年をお祝いしました。一九〇四年に、泉田準城師と仲間たちが「羅府仏教会」と名付けられた、ロサンゼルス初の仏教寺院を設立しました。それは、現在のリトルトーキョーの前身となる地域の小さな一角からの始まりでした。その後、私たちはボイルハイツへと移転し、半世紀以上にわたってその地に留まりました。

当時、多くの御門徒がボイルハイツ周辺に住んでいたため、一九五〇年代半ばには日系コミュニティが集

まるこの地域で寺院は大いに栄えました。何十年もの間、私たちはその地で活動を営みましたが、一九六〇年代になると、多くのご家族が郊外へと移住し始めたことから、寺院移転の構想が持ち上がりました。そして、リトルトーキョーに土地を購入する機会が訪れ、新しい寺院を建設することが決まりました。一九七六年に現在の寺院が完成し、今から二年後には落慶五十年を迎えます。

先駆者である一世や二世の方々はすでにお亡くなりになり、その役割は三世の方々へと引き継がれました。世代を超えて御門徒の皆さまから賜るご支援に、心より感謝申し上げます。

現在は、長峯眞如師が当別院で駐在開教使として勤めています。彼女は日本語と英語の双方に堪能であり、その若さも相まって、私たちのサンガにとって理想的な僧侶です。

私自身はかつて、京都で

四年間の学びを修了した後、モットストリートにあった旧別院で駐在開教使として勤め始めました。しかし、その翌年、長い歴史を持つモットストリートの寺院を新たにリトルトーキョーの別院へと移転しました。それは、今から半世紀も前のことです。

もちろん、私たちの使命を考えると、どれほど美しい寺院があつたとしても、最も大切なのは、その場所が仏教の教えと、私たちの宗祖・親鸞聖人の教えが生き続け、正しく伝えられていく場所であるということです。

皆さまに、定期的に法要や行事にご参加いただけることを楽しみにしています。引き続きインターネットを通じて日曜礼拝を配信してまいります。ぜひ、お時間があるときは直接お寺にもお参りいただければ幸いです。

皆さまのご支援に深く感謝し、これからも皆さまとともに仏法を聞き続け

ていきたいと思えます。二〇二五年も皆様にとつて素晴らしい一年になりますよう、心より願っております。

開教使 長峯眞如

あけましておめでとうございます。旧年中は御門徒の皆さまより多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今年は、お寺にてより多くの方々とお会いする機会に恵まれたことを、大変嬉しく思っております。特に、別院の百二十周年記念をお祝いし、五年ぶりにお寺でお盆を開催できたことは、私たちにとって大変意義深い出来事でございます。

一方で、日々の生活の中で悲しい出来事にも直面いたしました。能登半島では、多くの方々が大地震によつて家やお寺を失われ、また、アメリカでは十一月に行われた選挙を通じて社会の分断が一層深まったように感じられます。本年は、仏法がさらに多くの

方々に届き、心のよりどころとなることを深く願っております。

サンガの一員として、皆さまと共に聞法し、教えを分かち合い続けられることを大変嬉しく存じます。皆さまにとつて、二〇二五年も素敵な一年となりますよう願っております。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

開教係

フレデリック・ブレニオン



合掌

時が経つのは本当に早く、まるで音速のよう感じます。つい先日、二〇二四年の新年の挨拶をしたばかりのような気がします。それでも、二〇二四年が過ぎ去ることを心から嬉しく思います。ある人がニック・フレデリクソンという方の言葉を教えてくれました「だから、私は過去の終わりに目を閉じ、心を新たな始まりへと開くのです。」過去の悲しみや失望があつたとしても、「新た

な始まり」への希望は常に存在します。そしてそれを迎えるには、心を開くことが大切です。この言葉を胸に、皆さまに心より新年のお祝いを申し上げます。また、この新年の気持ち、二〇二五年の日々の中で私たち一人ひとりに新たに訪れることを願っています。

私自身と妻のアントワネットは、近いうちに新しいカレンダーを飾る予定です。我が家にはほとんどの部屋にカレンダーがあり、まるでアートギャラリーのようです！毎月、新しい月の始まりとともに新しい絵が目飛び込み、そのたびに新年の精神を常に新鮮に感じさせてくれることでしょう。

北米開教区より 新年のご挨拶

開教監督部 後藤謙彰
皆さま、あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年はロサンゼルスで

迎える4回目の新年となります。私もやつとアメリカで暮らしていくことになれてきたように感じます。今年には昨年よりもたくさんのご門徒の皆さまと出逢い、有意義な時間を過ごせることを楽しみにしつつ、共に親鸞聖人の教えを聴聞すべく精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

開教監督部

長谷川智行

明けましておめでとうございます。旧年中は、別院や開教寺院、開教区に変わらぬご支援を賜り、心より御礼申し上げます。世界ではウクライナや中東での紛争に終わりが見えない状況に変わりありません。また、身近な真宗のコミュニティに目を向けると、能登地方の被災地域では復興の道いまだ遠く、困難な状況が続いています。しかし、そうした問題により、私達の人生において最も大切なものは何か、深く考え

させられることにもなりました。言い換えますと、それは私達のいのちの奥底の願いを思い起こすということでもあります。今年もまた親鸞聖人が浄土真宗と呼び、大切にされた仏教の根本に帰り、教えや願いに導かれながら、この大きな道を共に歩んで目覚め続けて参りましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



別院各組織より 新年のご挨拶

別院理事会

理事長代理

アイリーン・オオタ

理事会を代表して、皆さまに心より新年のお祝いを申し上げます。

過ぎし一年の寺院活動を振り返りますと、先生方のご尽力と、サンガの皆さま

より賜る熱心なご支援なくしては成し遂げることができなかつたことを改めて実感いたします。皆さまの継続的なご支援・ご協力で心より感謝申し上げます。

二〇二四年は、別院創立百二十周年を記念する様々な行事が行われ、老朽化した寺院建物の改修資金を集めるための資本キャンペーンを立ち上げた特別な年でした。毎年恒例のゴルフーナメントと百二十周年記念ダンスパーティーは、御門徒の皆さまやご友人たちのご参加と寛大なご寄付によって成功を収めました。また、二〇二二年と二〇二三年に村田牧場でのお盆祭りを楽しみました。二〇二四年には別院にて五年ぶりに開催することができました。太鼓の響きとともに万灯籠の下で盆踊りを踊るといふ喜びのひとときを再び共有できたことは何よりでした。さらに、村田家のご協力のもと五年ぶりにビッグバーゲンセールが、御門徒様の多大なる

支援を受けて開催されました。そして、百二十周年記念法要と昼食会には、大谷裕開教司教のご臨席を賜り、誠に光栄でした。まさに祝賀に満ちた一年となりました！また、私たちはいつも、熱心な先生方、勤勉で効率的な事務スタッフ、歌声を届けてくださる大谷楽苑、音響映像チーム、丁寧な庭師、施設維持管理チーム、そしてお茶やお斎の準備、郵送作業、仏具磨き、庭の草取りや掃除、その他数多くの作業を担ってくださるボランティアの皆さまに深く感謝しております。ぜひ法要にご参拝いただき、法要後にはご友人とお茶を飲みながら楽しいひとときをお過ごしください。日曜日の午前九時から午後一時まで、駐車場を見守る警備員も配置されています。引き続き、皆さまからの寛大なご支援に感謝申し上げますとともに、新たな一年楽しみにしております！

合掌

ABAより

ABA (Adult Buddhist Association) から皆さまへ、新年のお祝いを申し上げます！

二〇二四年の間、ABAのプロパティチームはお寺の維持管理を引き続き担当しました。今年は、トイレの配管修理を含むメンテナンス作業を行いました。また、サードストリートとセントラルストリートに散乱

していた木の枝やゴミを清掃・撤去しました。定期的に、庭師の依頼に応じて、園庭の草取りや剪定、清掃作業を行いました。フェンスの落書きは塗り直し、より大きなタグについてはロサンゼルス市の落書き除去チームに対応してもらいました。

当会では、リトル東京地区の犯罪問題に関して理事会に最新情報を提供し続けています。託児所の子どもたち、スタッフ、会員、訪問者の安全を最優先に考え

ています。

二〇二三年から二〇二四年九月にかけて、日曜礼拝のストリーミングや受付業務、セキュリティに協力してくださった皆さま、ありがとうございます。三月にはABAがゴルフ大会のティースポンサーを務め、大成功を収めました。また、素晴らしいファンドライザードانسパーティーを支援し、どちらも百二十周年記念キャンペーンの資金となりました。

五月には、第六回「リトル東京スパークル」に、地域の他のボランティアグループとともに参加しました。東本願寺の会員一同、このイベントへの参加は、二〇二一年の破壊被害の際に私たちの別院がコミュニティからいただいた寛大なご支援への感謝を示す、特に重要な機会であると考えています。セキュリティを担当してくださったフランク・エドワーズさんに感謝いたします！

同じく五月には、特別な

「母の日」朝食でお寺のお母さんたちをお祝いしました。ポルトスのデザートやブリトーをピックアップしてくださった皆さま、フルーップレートを準備してくださった皆さま、ありがとうございます。美しい花々を寄付してくださったリサ・シマモトさん、特別な饅頭を提供してくださった風月堂にも感謝いたします。

六月末には、ウェストコビナのお盆祭りのリクエストに応じて、ABAが輪投げブースを提供しました。

七月には、別院にて再開されたお盆祭りに門徒や友人が集いました。お盆の週末前に矢倉やパティオの日除け布、提灯などを設置するために尽力してくださった皆さまに感謝いたします。準備段階では、壊れたテーブルや椅子の修理、機材のチェックも行われました。前日の早朝に設営を手伝ってくださった大勢の皆さまは、長年のメンバーにとって大きな助けとなりました。

した。また、ステイール・セキュリティとロサンゼルス市警察のご協力のおかげで、お盆祭りは無事に成功を収めることができました。

秋には、親鸞聖人のご生涯を偲ぶ報恩講に参拝しました。本山より、大谷裕開教司教や蒲池誓組織部次長もお迎えすることができ、大変光栄でした。

十二月には、別院の大掃除を行い、年末恒例の餅つきで一年を締めくくりました。一年を通して、御門徒の皆さまから賜るご支援とご尽力に、改めて心より感謝申し上げます。おかげさまで、メンテナンスコストを削減することができ、会員の皆さまからのご寄付を百二十周年記念基金に充てることができました。この基金により、お寺の改修を継続的に進めることが可能となりました。

今後の行事にご興味のある方は、ぜひお寺の寺務所までお気軽にお問い合わせください。

合掌

婦人会

心からの新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、五年にわたるCOVID-19とその影響の後、ようやく「通常の生活」に近づいてきたように感じました。まだ参加者数はパндеミック前ほどには回復していませんが、法要に足を運んでくださる方々が増え、嬉しく思います。婦人会は、当番の一員として、お茶やおときの準備を手伝いました。

最後に一言…婦人会は「おばあさんたち」という意味ではありません！素晴らしい新年をお迎えください。お寺でお会いできるのを楽しみにしています。

ジュニアYBA・ ダルマスクール

ジュニアYBAおよびダルマスクールから新年のご挨拶を申し上げます！

今年度の最初の数ヶ月は

ルンビニ保育園

順調に過ぎました。ジュニアYBAは南加地区のさまざまなイベントに参加し、ダルマスクールの集いも毎月続いています。二〇二五年にはより多くの学びを得ることを楽しみにしています。先生方による特別なお話や活動にもぜひご参加ください！ダルマスクールのスケジュールについては hbtkids@gmail.com またはジュニアYBAについては info@hbtl-la.org までご連絡ください。

明けましておめでとうございます！あつという間に二〇二四年が終わり、新しい年が始まりましたね。皆さんが冬休みを家族や友達と楽しんだことを願っています。昨年も生徒たちが最大限に学び続けられるように努力してきました。思いやりのあるスタッフやご家庭の支えがあり、生徒たちは毎年成長し、新たなステップへ進んでいます。

今年も引き続き、マユキ先生の日本語クラスやジョン先生のムーブメントクラスを行っています。ダニー先生とジャック先生は、レッドルームとイエロールームの生徒たちに素晴らしい活動を提供し続けています。先月は、ホリデープログラムで年末を締めくくりました！生徒たちは、二曲のホリデーソングと一曲の日本の歌を素晴らしく披露してくれました。プログラム後には、サンタさんに会い、頑張ったご褒美として特別なプレゼントももらいました。ルンビニ保育園のスタッフと委員会を代表して、皆様に新年のご挨拶を申し上げます。皆様からの暖かいご支援とご寄付に心から感謝しています。さらに素晴らしい一年になることを楽しみにしています！



大谷楽苑

大谷楽苑と指揮者・ピアニストの船井一恵先生より、二〇二五年の新年のご挨拶を申し上げます。

船井先生の並々ならぬご尽力のおかげで、大谷楽苑はこれまで通り、私たちのサンガのために歌い続けることができています。メンバーは三人か四人と少人数の時もありますが、皆さまからの温かい応援に心から感謝しています。

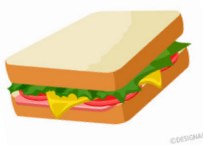
皆さまのご支援とご寄付、誠にありがとうございます。

地域支援グループ

代表

トリッシュ・ニコルソン
地域支援グループから新年のご挨拶を申し上げます！当グループは二〇一九年に、地域の困っている方々を助けたいと願うサンガのメンバーによって立ち上げられました。私たちは

ダウンタウン・ウィメンズ・センターと連携し、ホームレスの女性たちにサックランチを作って届けました。パンデミックにより活動継続が難しくなりましたが、二〇二四年の初めには、サンガと友人たちが再びこの活動を再開し、毎月一回、センターのために昼食を作り始めました。私たちは階下のキッチンで集まり、約百個のサンドイッチを作り、果物、ニンジン、スナックバー、そして水をセツトにしてサックランチを完成させます。参加者の皆さんは、この活動を通して他者を助けると共に、地域とのつながりを深めています。そして、この作業はとても楽しく、ほとんど仕事のように感じません。ぜひ皆様もご参加を検討ください。改めまして、新年おめでとうございます！



二〇二五年度ゴルフ大会

開催日 二〇二五年 三月十日（月）
場所 キャンドルウッドカントリークラブ

皆様のご参加お待ちしております。

